

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【公開番号】特開 2018-19794 (P2018-19794A)
 【公開日】平成 30 年 2 月 8 日 (2018.2.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-005
 【出願番号】特願 2016-151551 (P2016-151551)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 1 日 (2019.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御する主制御部からのコマンドに基づいて演出の制御を行う演出制御部を備えた遊技機であって、

前記演出制御部は、少なくとも、ROM 搭載基板と、映像信号作成基板と、液晶出力基板を備え、

さらに、前記演出制御部は、基板ボックスに収容され、前記基板ボックスは、封印部を備え、前記基板ボックスを開放するためには前記封印部を破壊するものであり、

前記 ROM 搭載基板は少なくとも演出に用いられる画像データを予め記憶した ROM を搭載し、

前記映像信号作成基板は、前記 ROM 搭載基板から前記画像データを得て、複数種類のフォーマットの映像信号を作成することが可能であり、

前記液晶出力基板は液晶表示装置で表示を行うために前記映像信号を送信するものであり、前記映像信号作成基板からの前記複数種類のフォーマットの映像信号から、前記液晶表示装置が必要とする種類のフォーマットの前記映像信号を送信し、

前記 ROM 搭載基板と前記映像信号作成基板、前記映像信号作成基板と前記液晶出力基板は各々コネクタで接続され、

前記映像信号作成基板と前記液晶出力基板を接続する前記コネクタは、ハーネスを用いない基板間コネクタである

ことを特徴とした遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来より、図柄、各種背景画像、文字、キャラクタなどの画像データが記憶される ROM、種々の画像を表示する表示装置を制御する CPU 等が実装される演出制御基板等を備

える遊技機が提案されている（例えば、特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【特許文献１】特開２０１６－１１６６６７号公報（図２）

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

ところで、表示装置に入力される映像信号の方式には複数種類のものがある。このため、特許文献１に記載される遊技機においては、表示装置に入力される映像信号に合わせて演出制御基板を改変して製造する必要がある、演出制御基板のコストを抑制することが困難であった。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、演出制御部のコストを抑制することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

（解決手段１）

遊技の進行を制御する主制御部からのコマンドに基づいて演出の制御を行う演出制御部を備えた遊技機であって、前記演出制御部は、少なくとも、ＲＯＭ搭載基板と、映像信号作成基板と、液晶出力基板を備え、さらに、前記演出制御部は、基板ボックスに収容され、前記基板ボックスは、封印部を備え、前記基板ボックスを開放するためには前記封印部を破壊するものであり、前記ＲＯＭ搭載基板は少なくとも演出に用いられる画像データを予め記憶したＲＯＭを搭載し、前記映像信号作成基板は、前記ＲＯＭ搭載基板から前記画像データを得て、複数種類のフォーマットの映像信号を作成することが可能であり、前記液晶出力基板は液晶表示装置で表示を行うために前記映像信号を送信するものであり、前記映像信号作成基板からの前記複数種類のフォーマットの映像信号から、前記液晶表示装置が必要とする種類のフォーマットの前記映像信号を送信し、前記ＲＯＭ搭載基板と前記映像信号作成基板、前記映像信号作成基板と前記液晶出力基板は各々コネクタで接続され、前記映像信号作成基板と前記液晶出力基板を接続する前記コネクタは、ハーネスを用いない基板間コネクタであることを特徴とした遊技機。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 8
【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明の遊技機においては、演出制御部のコストを抑制することができる。